



学校だより

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

TEL 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <https://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

このまちの、すべてが教材です。 文責 校長・高橋 豊

いのちの大切さ・薬物乱用防止講話

11月12日、北海道警察釧路方面広尾警察署員にお越しいただき、全校生徒を対象に、「いのちの大切さ・薬物乱用防止講話」を実施しました。

覚醒剤や大麻などの薬物を、一度でも使うと乱用になってしまうこと、止めたくても自分では止められなくなることを、止めてもフラッシュバックが起き、一生、薬物と闘わなくてはならないことを知りました。また、市販薬も、用量用法を守らなければ薬物乱用になること、海外のサイトでは「お香・アロマ」などを書いてあっても禁止薬物が入っていることがあるなど、いろいろなことを教えていただきました。

命の大切さについては、自分の命について考えるきっかけになってほしいとのことで、職務上、たくさんの死と向き合っているからこそその熱い思いを語っていただきました。

生徒たちも、自分の命、家族や大切な人の命について考えることができました。



生に関する講話「楽しい人生の作り方」

11月19日、精神保健福祉士・公認心理師・自己肯定力トレーナー等の資格を持つ、LIFE&心&WORKアメトソラ代表の永野拓己氏を講師に招き、「楽しい人生の作り方」という演題で、自己肯定感について、演習や生徒との問答を交えながら講話をいただきました。

日本人は諸外国に比べ、自己肯定感が低いと言われていたようですが、自分を認めていると、「悪いところもあるから低評価なのもわかる」「良い評価があってもおかしくない」という認知・認識・受け取り方ができるので、他者評価やこの先どうなるかの予想が良い方向へ変わり、その結果、関わり方や行動も良い方向の気持ちに変わるということでした。

まとめでは、「自己肯定感の低い赤ちゃんはいない、だから、自己肯定感は変えることができる」、「環境や意識、トレーニングで変わる」、「良い自分も悪い自分もあっていい、どんな自分も良い」というまとめの話は、多くの生徒に考えさせられるものでした。

